

第33回 機青連定期総会

4月12日 於 リーガロイヤルホテル京都

4月12日土曜日に、第33回機青連定期総会ならびに懇親会が開催されました。ご来賓17名、会員43名のご参加をいただきました。総会では議案がすべて承認され、新役員の改選において新幹事より第33期代表幹事に有田一繁氏(株式会社有田製作所)が選出されました。



京都機械会属中小企業青年連絡会 第33回定期総会 2014年4月12日 於 リーガロイヤルホテル京都

(集合写真)

〈代表幹事よりお礼〉

第33回 機青連定期総会ならびに懇親会にご臨席賜りましたご来賓の皆様方、会員の皆様方、お忙しい中、長時間にわたり誠にありがとうございました。皆様のご協力により滞りなく無事に総会を終えることができ、第33期を迎えることができましたこと、重ねて御礼申し上げます。

その総会におきまして恩田直前代表の後を受けまして、33期代表幹事を務めさせていただくことになりました。「頼まれごとは試されごと」代表幹事の名に恥じないよう、恩田直前代表幹事からバトンをしっかりと受け継いでいく所存です。

今期は「一(はじめ)」～今一度 現状を見つめ これからを見る～という年間テーマのもと事業を進めてまいります。はじめを一にしたのは今一度じっくりと考える。とスタート、始めようの意味をこめています。

これには2つの目的があり

・今一度、機青連を考える機会

機青連の発足当初からの目的は縦のつながりでは無く、横のつながり。すなわち他社を見ることで自社の強みの確立をし、メーカー等顧客に依存せず、中小企業の自立をはかるためではなかったのかと考えます。基本コンセプト:「キカイ」を作るのは人間やで！運営スローガン:「育とう」「育てよう」「育ち合おう」には、機青連活動に積極的に参加することでさまざまな機会を得て、自社、自己の成長のために役立てる。自分のことだけでなく、会員相互に成長し合う機会を設けることだと思います。この大切な理念を今一度理解する事業が必要かと思えます。

・今一度自分、自社の立ち位置を見る機会 広い視野で世の中、これからを見ることをはじめる

普段、仕事に追われる事が多い我々は今一度じっくり落ち着いて自分自身、自社の立ち位置を見て、考えることが必要かと思えます。そういったことに気づき、考え、実践できる事業ができればと思えます。

今期 21 名の幹事が一致団結し、機青連に関わる皆様により多くの「学び」、「気づき」、そして「機会」の場をつくっていきますので、積極的な事業のご参加、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

<新役員紹介>

代表幹事	有田 一繁	(株)有田製作所
副代表幹事	義永 信一郎	(株)神村製作所
副代表幹事	土肥 秀則	土肥板金工業(株)
会計	高畑 國正	(株)高畑工作所
主務	立入 一晃	(株)長濱製作所
研修委員会 委員長	佐藤 拓哉	(株)万城製作所
会社訪問委員会 委員長	福井 悠記	洛陽化成(株)
交流企画委員会 委員長	佐々木 志朗	(株)佐々木工作所
切削部会 部会長	山下 正起	協和精工(株)
板金部会 部会長	橋本 展幸	橋本鉄工(株)
幹事	植田 晃史	(有)植田製作所
	江波 明	(株)エナミ精機
	小川 保弘	(株)オージーファイン
	河本 晋平	カワケイ
	鈴木 祐介	(株)最上インクス
	中本 幸志	(株)ナカモト
	松浦 昌義	(株)マツウラ
	安田 一真	(株)ヤスダモデル
	山田 昌司	(有)山田工業
	山本 秀幸	HILLTOP(株)
直前代表幹事	恩田 健帥	(株)コーシン
監査幹事	木村 俊彦	(株)木村製作所
監査幹事	江森 正和	城陽富士工業(株)

—順不同 敬称略—